



研修主題  
 生徒の「なぜ?」「なるほど!」「もっとやってみたい!!」  
 を引き出す指導の工夫  
 教科の垣根を越えた教職員同士の学び合いを通して



校内研修

# こんな思い、もっていませんか?

キャリア段階が様々で、どの先生にも役に立つ  
 研修にするのが難しい…。



校内研修のテーマと自身が力を入れていきたい部分  
 が異なっていてモチベーションが上がらない…。



生徒の成長に直結する研修にしたい!



境北中では、  
**一人一人が実施内容を考える研修**  
 に取り組んでみました!

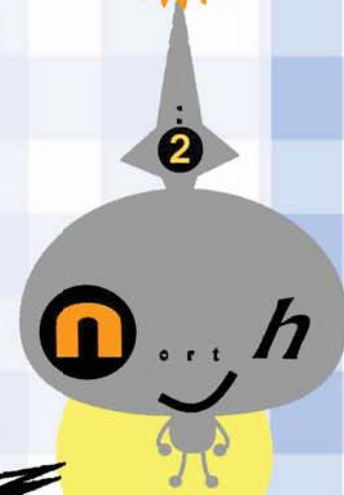
## 研修の概要

★全ての教科に共通する3つの資質・能力に着目し、  
 個々の授業改善目標を設定し実践する。

★単元や題材構想を意識し、授業改善を行う。



個で収束してしまわないPointは  
 次のページで★



# 実践の内容



## ① 個人目標シートの作成・共有会

全員が意義あると感じることのできる校内研修とするために、一人一人が自分にとって必要だと感じる部分に焦点を当て、自分自身で実践の内容を設定しました。

point!

### ★教科の魅力を考える！

個人目標シートを作成するにあたり、最初に、自身の教科の面白さについて考えました。生徒が顔を輝かせる授業作りに繋げるとともに、他の教科について知ることで教科の垣根を越える一歩をしたいと考えました。

教科	数学
教科の魅力	教科の魅力、教科の面白さを伝えること、教科の魅力を伝えること、教科の魅力を伝えること、教科の魅力を伝えること。
教科の学習目標	1. 基礎的な学力を向上させること。 2. 教科の面白さを伝えること。 3. 教科の面白さを伝えること。 4. 教科の面白さを伝えること。
教科の授業内容	教科の授業内容、教科の授業内容、教科の授業内容、教科の授業内容。
教科の学習方法	教科の学習方法、教科の学習方法、教科の学習方法、教科の学習方法。
教科の学習成果	教科の学習成果、教科の学習成果、教科の学習成果、教科の学習成果。

### ★新学習指導要領に示された3つの資質・能力をバランス良く育むことを意識する！

新学習指導要領に示された「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育むことを意識しました。3つの資質・能力は、各教科に共通する柱なので、それらをベースに目標を設定することで、教科の垣根を越えた話し合いができると考えました。

### ★共通した視点となる工夫点を選択する！

事前に研修推進委員会で作成した「工夫点一覧」から各自の工夫点を選択することでそれが共通した視点となり、教科の垣根を越えることの実現に繋がると考えました。

工夫点一覧	
1. 単元構想	
2. 6か月の提示	
3. 発問・指示	
4. 導入	
5. 課題解決	
6. 個別支援	
7. 学び合う場の設定	
8. 多様な考えを引き出す手立て	
9. 教材教具	
10. 振り返り・まとめ	
11. 日常生活との関連	
12. ICT機器の活用	
13. その他	

### ★個人目標シートの共有会を充実させる！

・3~4人という少人数のグループで交流を行い、話をしやすい雰囲気作りを努めました。  
 ・教科部会から始め、ランダムにメンバーを変え、複数回行うことで様々な教員の考えに触れることができるよう配慮しました。

最初の校内研修全体会で、教職員支援機構主催「NITSカフェ」の映像を視聴しながら、新学習指導要領に示された3つの資質・能力についての理解を深めました。所々で動画をとめ、新学習指導要領の解説で自教科の内容を確認したり、他教科の内容にも目を通したりしながら研修を進めました。

## ② 授業改善

各自で、自身の個人目標達成に向け、授業改善を進めました。



## ③ 授業公開・参観・共有会

要請訪問の授業を参観し共有会を行いました。そこで学んだことを生かし、それぞれが公開授業を実施。共有会も行い、自身の授業について振り返ると共に、更なる改善点について考えました。



### 技術 知識及び技能 工夫点:導入



本題材製作の前に導入題材の制作を行った。タブレットを使用し、ノコギリ引きのイメージを掴ませた上で、各自で試行錯誤する時間を取り、技能の習得を図った。

### 理科 学びに向かう力、人間性等 工夫点:導入



実験の意味を生徒に理解させるために、その実験内容と似ている状況を例示し、生徒に考えさせることで、日常生活との関連付けを行った。

### 英語 思考力、判断力、表現力等 工夫点:学び合う場の設定



ペアを入れ替えて、基本的な会話のやりとりを繰り返す中で、会話の内容をスモールステップで変えていき、基本的な会話を応用する力の向上に努めた。

point!

### ★授業を見る視点で共有する！

学習指導案や授業メモに、個人目標シートの内容を反映させることで、3つの資質・能力や工夫点など、共通した視点を常に確認できるようにし、学びを得ることができる公開授業を意識しました。

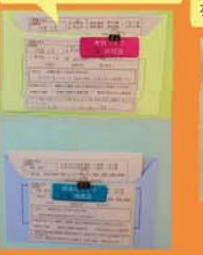
### ★多くの授業を見ることで学ぶ！

授業のキーワードを抜き出し、紹介したり、空き時間や公開日が視覚的に捉えられるようにしたりすることで、参観への意識を高めていきました。

### カレンダーで公開日を確認！



### 授業メモ配布封筒。



次の共有会で話す内容について事前に考えておくことができるように、終了後は授業者の感想を掲示し課題部分に色をつけた。



参観者は名前を記入。

### ★要請訪問共有会&公開授業共有会を充実させる！

- ・様々な考えに触れることができるよう、数多くの共有会の場を設定しました。(昨年度は5回、本年度は4回)また、一つの授業につき、グループを変え、2回話し合いを実施しました。
- ・1回の共有会で十分な時間(25分)を取るとともに、少人数で交流を行い、話をしやすい雰囲気作りを努めました。
- ・授業改善が、単元全体を意識したものとなるよう、共有会では、行った授業が単元全体においてどのような位置づけにあるのか説明する時間も取りました。
- ・授業者には、自身の授業の課題について話をしてもらい共通の話題となりました。



気になる成果は次のページで!



# 成果と今後に向けて

教職員全員が本研修の振り返りを行いました。個々の振り返りの言葉から成果をまとめました。

## 成果

### 生徒の姿

研修で授業改善を進めることで、生徒の姿として大きく4つの良い変化が見られました。

#### 主体的に活動に取り組む姿

グループ活動を多く取り入れたことで考えや気持ちを英語で伝えようとする意識が高まった。

課題を明確に把握し、解決するための方法をリーダー中心に意欲的に考えていた。

導入で身近な事柄を扱い、疑問をもたせたことで、最後まで意欲的に活動する姿が見られた。

生徒アンケートでも「挙手・発言の場をもっと増やしてほしい」という要望が出されるなど積極的な発言や行動が多く見られるようになりました。

#### 見通しをもって活動に取り組む姿

生徒が先を見通し、目的をもって活動する姿が多く見られるようになりました。

本題材の製作に備えて、予備題材の製作をすることで、見通しをもつことができた。

最終段階で行うことをあらかじめ伝えたことで見通しをもって授業に取り組むことができた。

めあてや授業展開を板書することで生徒が見通しをもって活動に取り組むことができた。

#### 生徒同士で学び合う姿

積極的に自分の考えを周囲の人に伝えたり、他の考えを聞いたりするようになった。

得意な生徒が自主的に遅れている生徒へアドバイスをしたり手伝いをしたりする姿が見られた。

隣同士で教え合う場面が増えた。

考えを交流することで主体的・対話的で深い学びの実現に繋がることができました。

#### 学んだことを次に繋げようとする姿

生徒の「もっとやってみよう」という気持ちを引き出すことができました。

振り返りで「もっと知りたい!」「調べたい!」「次は~に挑戦したい」「もっと自分の力を高めたい!」「(生活と結びつけて)~していきたい」といった記述が増えた。

社会的事象に対して疑問をもち、それを追求しようとする振り返りの記述が見られるようになった。

### 教職員の授業改善・授業力向上

教職員の授業改善・授業力向上については、大きく3つの成果が見られました。

#### 生徒の姿を大切にする授業

復習を行いながら、生徒の言葉をもとに、本時のめあてを設定できるようになった。

これまでよりも生徒たちの反応を大切にしながら授業を進められるようになった。

#### 授業の構成力や展開力の向上

「めあて」と「まとめ」を意識して授業を続けることで授業内で押さえなければいけないところや軽重を意識して授業をできるようになってきた。

授業の流れがうまく構成できるようになってきた。

#### 対話を中心とした授業

段階的に会話のレベルを上げるなどペア活動にたくさんの工夫を取り入れることができた。

これまでよりも対話を重視した学習を意識して行うことができるようになってきた。

### 教職員の声

また、振り返りの中に以下のような教職員の言葉がありました。

- ・個人目標を設定したことで3つの工夫点を意識しながら授業をすることができた。
- ・様々な先生方の目標を知ることができ、自分の立てた目標を改めて意識することができた。授業公開では、自分の教科以外の授業も参観し、他教科での活動内容を自分の教科で生かすことを考えるよいきっかけとなった。
- ・参観する視点について、共有会や他の先生の参観メモから自身の考えが凝り固まったものとなっていたことに気付くことができた。
- ・授業を見てくださった先生方から様々な意見を頂き、良い点や改善点に気付くことができた。その後、授業では気付いたことを意識して行うことで生徒の反応も良く積極的に取り組む姿が見られるようになった。
- ・他教科での生徒の活動が自分の担当教科での生徒の活動に連動し、役立っていることに気付いた。

## 今後に向けて

- ◎「なぜだろう?」という疑問や「もっとやってみよう!」という気持ちを更に抱かせる授業の工夫  
良い取り組みを継続していくと共に、更なる高みを目指し、これからも授業改善に努めていきます。
- ◎評価も含めた3つの資質、能力についての更なる理解  
来年度の新学習指導要領完全実施に向け、学校全体で学びを深めていきます。
- ◎ICTの有効活用  
ICTを活用し、分かる喜びやできる楽しさをより味わえるようにしていきます。

これからも境北中は生徒の成長のために頑張っていきます!

